

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Our Purpose

金融をもっと近くに。一人ひとりに向き合い、まいにちのくらしを安心とよろこびで彩る。

ROE
10.0%

② 中長期の経営戦略

1. AEON Payによる顧客基盤拡大

コード決済「AEON Pay」を金融サービス展開の中核ブランドに進化。クレジットカードや銀行口座の顧客接点を集約し、若年層へのアプローチを強化。

3. アジア重点国での小売×金融×デジタル…

マレーシア・ベトナム・カンボジアを重点国。スマホアプリを軸に決済・融資等をシームレスに連動。ベトナムでは与信機能付き決済事業開始。

2. データ・AI活用による融資事業強化

購買・顧客情報とAIを融合し、顧客ニーズに合った融資サービス提供。決済から融資のクロスセルと法人向け融資の展開を強化。

4. 国内コスト構造の抜本的改革

2027年度末までに商品・サービス見直しと業務効率化を実施。AI・デジタル活用で業務プロセスを高度化し、創出した投資余力を成長分野に再配分。

③ 対処すべき課題

① 事業環境の不透明性

- ・世界的な政情不安の長期化と中国経済の成長鈍化
- ・金利水準の高止まりによる景気下振れリスク
- ・事業資金調達コストの増加と金融商品の利益構造変化

② サイバー脅威と技術への対応

- ・AI・量子コンピューティング等による高度化・巧妙化したサイバー攻撃への対策
- ・安全・安心なサービス提供体制の強化が必須
- ・ブロックチェーン技術進展への対応と決済事業のデジタル化加速

③ 過去の重大事案への対応

- ・前期のクレジットカード不正被害拡大と業務改善命令への対処
- ・海外子会社の過年度決算修正への再発防止
- ・グループ全体のリスク管理とコンプライアンス強化

面接で使えるポイント

- ・小売業発の強みを活かし、イオングループとのシナジー最大化を図るビジネスモデルに注目。
- ・マレーシア・ベトナム・カンボジアの成長市場でアジア展開を加速。
- ・2027年度末までのコスト構造改革と、AI・デジタル技術による業務効率化で投資余力を創出。

証券コード 8570

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

イオングループの金融サービスを担う企業

主力事業・セグメント

- ・小売 41.5%
- ・MekongArea 18.1%
- ・MalayArea 17.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高5,694億円の事業規模
- ・営業利益率10.7%の安定した収益性
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
5,694億円営業利益率
10.7%財務健康度
32点 /100点

将来性 曇り / 就活偏差値 54.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
712万円

その他金融業内 19位/38社

平均年齢
40.7歳

その他金融業内 19位/38社

平均勤続
11.6年

その他金融業内 16位/38社

女性管理職
16.4%

その他金融業内 16位/27社

男性育休
96.9%

その他金融業内 10位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: イオンフィナンシャルサービス(株)【8570】：決算情報

